

庁舎における節電の取り組みについて

市では、榛原庁舎において、最大電力利用の減量を図り、節電と電力料金の削減に取り組むためにデマンドコントローラー（電力量監視装置）を5月に設置し、4月から10月までの基本電力料金を217,340円、9%削減した。

また、デマンド装置により節電対策を行っているという職員の認識による相乗効果により、利用電力も11%削減された。

ただし、割引料の減及び燃料調整額、太陽光付加金の増があったため、電気利用料金全体では、3%（199,326円）の削減にとどまった。

榛原庁舎

4月～10月

(円)

基本電力	電力量	KW	H 2 4	基本電力量 2 0 0	
			H 2 3	基本電力量 2 3 3	前年対比効果
	基本料金	円	H 2 4	2, 191, 888	▲ 2 1 7, 3 4 0
			H 2 3	2, 409, 228	▲ 9. 0%
利用電力	電力量	K w h	H 2 4	334, 420	▲ 4 1, 4 5 7
			H 2 3	375, 877	▲ 1 1. 0%
	利用料金	円	H 2 4	4, 191, 891	1 8, 0 1 4
			H 2 3	4, 173, 877	0. 4%
料金合計額	円	H 2 4	6, 383, 779	▲ 1 9 9, 3 2 6	
		H 2 3	6, 583, 105	▲ 3. 0%	

1 デマンド設置効果

(1) 基本電力料金への効果

- ① 榛原庁舎の契約容量は、デマンド装置設置前に233（k w h）だったが、デマンド装置設置に伴いH24年6月の使用から上限200（k w h）となった。
- ② これにより、基本料金の削減は、月45,000円となり、本年度削減額は45万円となる。（平成24年6月～平成25年3月）。
- ③ なお、昨年1年間の基本料金合計額は、4,912,749円。

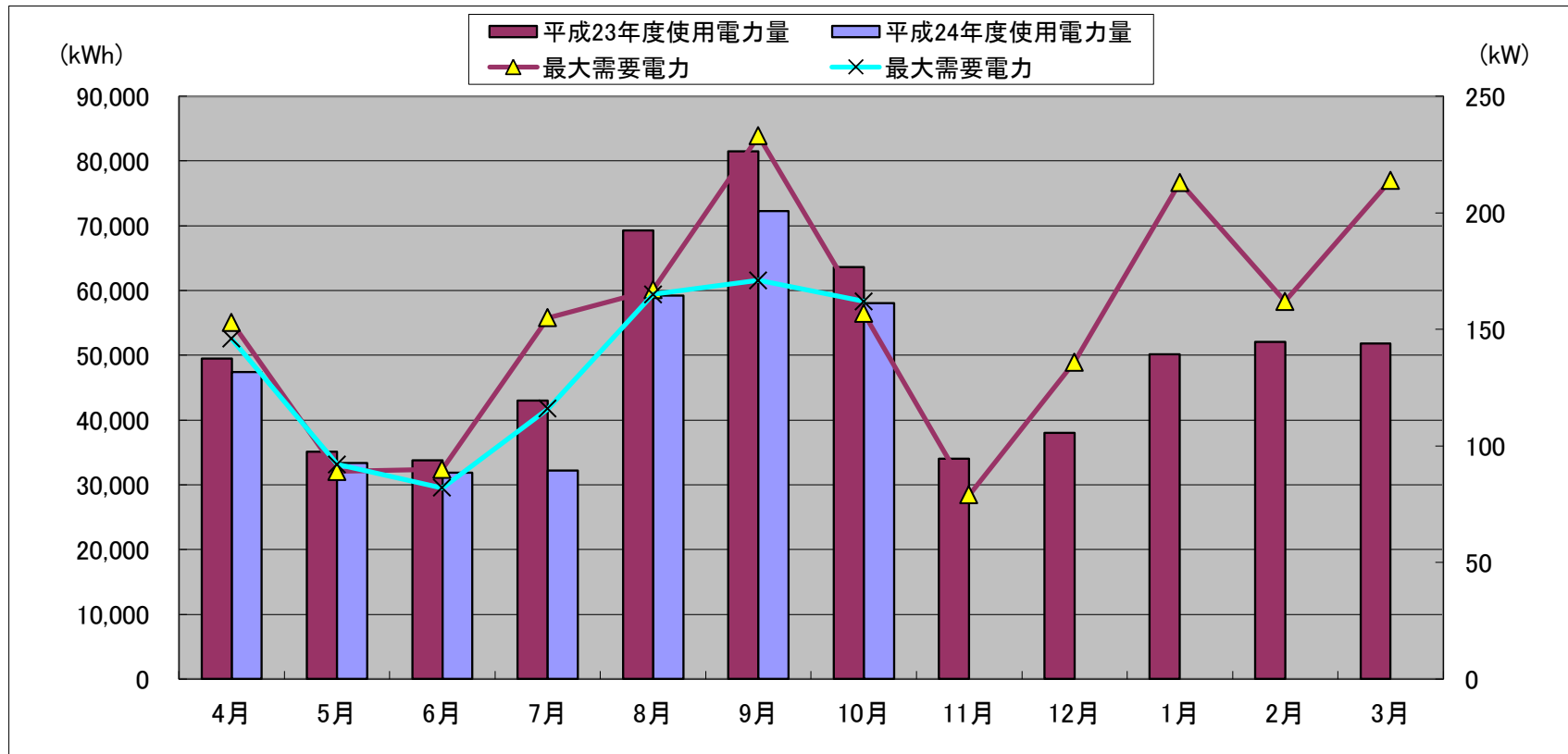
(2) 最大需用電力への効果

- ① 昨年最大需用電力が最高だった9月も低く抑えられている傾向を示した。
- ② このことにより、年間最大需用電力を基本電力料金の基準とする電力契約において、今後さらに基本電力料金を削減できる可能性がある。

2 今後の取り組み

- (1) 現在建設中（12月末竣工）の相良消防庁舎にデマンド装置を設置する。なお、各種設備の電源の自動切断機能がない相良庁舎は、デマンド装置との連動による最大需用電力の抑制に効果が現れにくいいため、導入は予定していない。
- (2) 現在ウォームビズを実施中であるが、空調にかかる電力量の削減とともに、執務室での節電を職員に呼びかけ、電力使用量全体の削減及び経費削減を推進する。

榛原庁舎



H23年4月～10月までの使用電力量(kWh)	
375,877	
H24年4月～10月までの使用電力量(kWh)	使用電力削減率
334,420	▲ 11.0%

H23年4月～10月までの使用電気料金(円)	
6,583,105	
H24年4月～10月までの使用電気料金(円)	使用電気料金削減率
6,383,779	▲ 3.0%